

令和3年度第1回忠岡町総合教育会議 会議録

■会議名 令和3年度第1回忠岡町総合教育会議

■日 時 令和4年1月24日（月）午前10時30分から午前11時5分

■場 所 忠岡町役場 3階 研修室3

■出席者

町長	杉原 健士
町長公室長	立花 武彦
町長公室次長兼企画人権課長	明松 隆雄
教育長	富本 正昭
教育長職務代理者	安明 明子
教育委員	井手 和代
教育委員	新田 哲也
教育委員	谷野 しづこ
教育委員	竹林 正訓
教育部長	二重 幸生
教育部教育みらい課長	石栗 健史
教育部理事兼学校教育課長	石本 秀樹

■傍聴者数 1名

■議事日程

- (1) 学校ICT化の進捗状況について
- (2) 適応指導教室（ソレイユ）の状況について
- (3) その他

■会議の内容

事務局	<p>ただいまより、令和3年度第1回忠岡町総合教育会議を開催いたします。本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>それでは先ず最初に町長からご挨拶をいただきたいと思います。</p>
杉原町長	<p>令和3年度の総合教育会議の開催にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。本日は、ご多忙な中、委員の皆様方におかれましては、ご出席いただきありがとうございます。また、平素から本町の教育行政に多大なご尽力をいただき、感謝申し上げます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症については、今年に入り第6波が大きく押し寄せて来ており、教育・保育現場においても、改めて気を引き締め、基本的な感染拡大防止策として、手洗い・消毒・密を避ける、というところを徹底しておりますので、委員皆様のご理解、ご協力の程お願いいたします。</p> <p>昨年度の総合教育会議はコロナ禍のために、中止とせざるを得ない状況であり、私としましては初めての総合教育会議ということで委員皆様とこうして顔を合わせて会議が出来ることを心待ちにしていたところでもあります。早いもので、町長就任後1年が経過し、就任当初から申し上げていたとおり、4年という限られた任期の中で、『スピード』『決断』『実行』をモットーに、特に教育・子育て支援についての各施策を積極的に進めて参りますので、一層のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、これからの会議の進行につきましては、本会議の設置要綱第4条第1項の規定に基づき、総合教育会議の招集者であります杉原町長に議長を務めていただくこととなりますので、よろしくようお願いいたします。</p>
杉原町長	<p>それでは、案件に入ります前に、本日、傍聴の申出がありますので、本会議の公開に関する要綱第3条第1項の規定により、傍聴を許可することとしてよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（ 異議なしの声 ）</p>

杉原町長	<p>それでは、傍聴される方の入室を許可することといたします。</p>
杉原町長	<p>それでは、案件に従いまして議事を進めさせていただきます。まず、案件(1)「学校ICT化の進捗状況について」を議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。</p>
石本理事	<p>GIGA スクールの状況について説明させていただきます。 学校教育課資料をお願いいたします。 まず、学校ICTの整備状況につきましては、文部科学省の「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画目標水準」および「GIGAスクール構想の整備目標」と本町の整備状況を比べますと、統合型校務支援システムとICT支援員以外、整備済みとなっております。また、これまでの整備状況につきましては、資料2ページの②の通りとなっております。 資料の3ページをお願いいたします。「学校ICT推進のための教育委員会の取組み」につきましては、令和2年11月から、タブレット導入業者等による教職員対象の研修を複数回実施し、7月には、「本町における授業改善の取組みについて」保護者への周知とともに町ホームページに掲載いたしました。また、新型コロナウイルス感染症拡大による長期の臨時休業等を想定し、10月に家庭でのWi-Fi(無線通信)テストを保護者にご協力いただき、実施いたしました。 10月28日には、3年ごとに行っております「忠岡町教育フォーラム」をWebを活用して開催し、各校からの取組みの発表を行うとともに、本町の学力向上に向けた取組みに対する、ご指導・ご助言を平素より頂戴しております大阪大谷大学の岩井教授にご講演をいただきました。教育委員さんにも、ご出席を頂いたところですが、本日は、フォーラムの際に配付いたしました「【忠岡町】ICTを活用した授業改善実践事例集」をお配りさせていただいております。実践事例集の1ページをお願いいたします。本町におきましては、「自分の考えをまとめ、説明や発表ができる力」を子どもたちにつけるため、これまでの取組みの成果を活かし、授業改善を一層進め、一人1台タブレット端末等のICTを効果的に活用した取組みを実施しているところでございます。 例えば、2ページにあります通り、小学校の低学年では、タブレットを使って、教室外で身近な生き物の写真や動画を撮り、教室での友達との交流の際に活用しております。また、5・6ページにあり</p>

	<p>ます通り、中・高学年では、インターネットを活用し、調べ学習を行ったり、7ページのように、自分やグループでまとめたことを、教室の大型モニターに投影しながら発表を行っております。教科につきましても、8・9ページの生活科や10ページの音楽科、11ページの社会科、12ページの国語科など、様々な教科や活動で活用しております。</p> <p>次に中学校におきましても、14ページの国語科でのグループ学習や15ページからの数学科、英語科、理科、社会科、音楽科、技術・家庭科、美術科、保健体育科と全教科にわたり、教科の特色を活かして、活用しております。</p> <p>今後も、一人1台のタブレット等のICTをツールとして活用し、授業改善を推進してまいります。</p> <p>今後の課題としましては、府内でも多くの市町村で導入が進んでいる校務支援システムの早期導入を図る必要性があります。統合型校務支援システムの導入により、教職員の事務作業の時間が軽減され、子どもと向き合う時間が確保できるようになることから、教育環境の向上に資する施策であると考えておりますので、早期導入を図ってまいります。</p>
杉原町長	<p>只今、事務局から説明がありましたが、委員のみなさまからご質問等ございましたらお願いします。</p>
安明職務代理	<p>質問ではないのですが、先日、忠岡町教育フォーラムに参加させて頂き、講師の岩井先生も絶賛して頂いておりましたが、タブレットを使って、子ども達も頑張っていますし、先生方の指導もすごく頑張っておられました。忠岡町において、これだけのICT化が進んでいる、ということは素晴らしいことだと思います。</p>
竹林委員	<p>タブレットを利用することで、子ども達の個々の学習状況に応じて理解度も深まりますし、学習の発展についても個々のペースで繋がっていくものだと思いますので、さらに進めて頂けたらと思います。よろしくお願いします。</p>
杉原町長	<p>他に質問などないようですので、つづいて案件(2)「適応指導教室(ソレイユ)の状況について」を議題とします。事務局から説明をお願いいたします。</p>

<p>石本理事</p>	<p>ソレイユ：忠岡町適応指導教室について説明させていただきます。 学校教育課資料ソレイユ：忠岡町適応指導教室についてをお願いいたします。</p> <p>昨年4月に学校長に説明の上、教職員の共通理解を図り、5月6日に保護者向けのご案内を町ホームページに掲載し、ソレイユ：忠岡町適応指導教室を今年度より開設いたしました。</p> <p>現時点の通室児童生徒数は、小学生1名と中学生4名の計5名となっております。また、他にも通室を検討するため、ソレイユを見学されている保護者もおられます。指導者としては、元校長であり、他市で適応指導教室にも携わっていた方を町費で室長として雇用し、ソレイユの管理や各校・保護者との連携、児童生徒への指導を行っております。また、府費の忠岡小学校のこども支援コーディネーターも指導に携わり、5月下旬からはソレイユ支援学生ボランティアを町費で、週1・2回雇用しております。</p> <p>ソレイユに通室している子どもたちは、ほとんどのお子さんが、ほぼ毎日通室し、学習や様々な活動に取り組んでおります。併せて、小・中学校の教員がソレイユを訪問してつながりを持つことで、放課後に学校に行ったり、テストを学校で受けたり、修学旅行などの学校行事に参加できたお子さんもおられます。</p> <p>本日は、ソレイユ室長が、学校と家庭、教育委員会がつながるようと、月1回発行しております「ソレイユだより」をお配りさせていただいております。1ページの5月号をお願いいたします。</p> <p>ソレイユでは、1日のタイムスケジュールを設定し、時間割にそって、ウォーミングアップの読書から始まり、午前中の自習の時間、みんなで交流するソレイユタイム、お弁当のあと、午後からは全員一緒に体育活動など、様々な活動を行っています。もちろん、お子さん一人ひとりの状況に合わせて、登室日や時刻を相談の上、対応しております。</p> <p>2ページの6月号をお願いいたします。写真にありますように卓球台を置き、先生や子ども同士で卓球をしたり、時には小・中学校の先生も交えてみんなでカードゲームを行ったりなど、学年を超えた交流を図っています。また、花壇に野菜の苗を植える等の栽培活動を行ったり、町の図書館に本を借りに行ったり、図書館の団体貸出しを利用しております。</p> <p>3ページの7月号をお願いいたします。「ちょつといい話」にありま</p>
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>すが、なかなか登室に向けて一步踏み出せない小学生が、ソレイユに通室している中学生が「私も一緒だったよ。その気持ちよくわかるわ。」と共感する姿勢でごく自然に話しかけてくれたことで、気持ちをはぐすことができたという温かい子ども同士のつながりも見られます。</p> <p>ソレイユが開設してもうすぐ9か月になろうとしておりますが、ソレイユが休みの水曜日に学校の校内適応指導教室や別室へのチャレンジ登校に取り組んでいるお子さんもいます。今後も、学校に行きたくても行けない子どもたちを支援し、学校とは異なった雰囲気「自分の居場所」「心のよりどころ」づくりを目指す太陽のようなぬくもりのあるところとなるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>冒頭、申し上げたとおり、現時点で常に子どもたちと関わりを持てるのは、室長のみとなっているところです。今後は、職員の増員の必要性を感じているところであり、財政担当、人事担当に要望を行っているところであります。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
杉原町長	只今、事務局から説明がありましたが、委員の皆様からご質問等ございましたらお願いします。
竹林委員	旧忠岡幼稚園の跡地を活用して適応指導教室を開設して頂いているということで、近隣を見ましても、あれだけの広い敷地で適応指導教室を設置しているところは数少ないと思います。なかなか学校に登校できない子どもさんに来ていただいて、活動するには最適な場所であると思います。今、提案のあったように、出来れば人員を確保して頂いて、常勤ではないにしても、非常勤なども活用しながら継続していけば、子ども達の興味関心にも対応できるようになってくるのではないかと思います。以上です。
杉原町長	私からもひとつ質問させてください。現在の室長さんも学校のOBの方だと聞いていますが、年齢的な制限は設けていないのか。
石本理事	現時点では、特段、年齢の制限は設けておりません。
富本教育長	現在の室長さんは、他市の適応指導教室において中心的な役割を担

杉原町長	<p>っておられた方で、他市では年齢制限があり、退職となった方にタイミングよく声掛けが出来、本町に来ていただいたところです。</p> <p>他に質問などが無いようですので、案件3「その他」について議題とします。委員の皆様から何かご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。</p>
谷野委員	<p>忠岡町の子ども達を見ていると、小さいまちなのに活躍されている子どもがたくさんいらっしゃいます。文武両道で、野球については忠岡中学校野球部が全国大会に出場された、ということや、絵画コンクールなどにおいても優秀な成績を残されている、ということを感じております。子ども達が生き生きと伸び伸びと育っていると感じているところです。これからも、そういう良い所をどんどん伸ばして行ってあげて欲しいなど、思っていますので、よろしく願いします。</p>
新田委員	<p>世の中が、いわゆるIT化と言われており、子ども達もほとんどが携帯・スマホを持っている時代です。我々の育った時代とは全然違うんでしょうけど、子ども達の遊びというのは、どうなっているのかと思います。子ども達は常に携帯を触っている、大人もそうなんですけど、電車の中でもほとんどが触っている。兵庫県立大学の教授が保護者、子どもを集めて、携帯を触る時間を決めて、1週間程度泊まり込みで実験をした結果、一番面白かった体験がリアルな鬼ごっこのような人と接する遊びであったということでした。今の子ども達は、そういう人と接するような遊びの経験がほとんどない。やはり、人と目を見て話をするようなことが大切なことだと思います。人とコミュニケーションを取ることの大切さを教えていかなければならないと思います。</p>
杉原町長	<p>全国的には、野外活動を積極的に取り入れている学校もあると聞いています。体力面でも良いことではないかと思います。先ほど、委員からもありましたが、携帯を触る時間を制限する、という発想も大事かと思います。忠岡モデルみたいな感じでね。非常に難しい問題ですね。教育長、どうですか。</p>
富本教育長	<p>委員も仰っておられた、実体験。人間が学んでいくということは、</p>

	<p>体験の中から学んでいく、というのが非常に大きいものです。体験についても、成功体験だけではなく、辛かったり、失敗したり、嬉しいことなど、色々なことを学んでいく、というのが大事だと思います。仮想での体験で、体験したように感じる、ということについては危惧する所です。やはり、人間は人との関わりの中で色々なものを学び取っていくし、成長の糧にもなります。本町の就学前教育では、遊びを通して学んでいく、小・中学校では人との関わりを持たせて、体験を大切にしながら進めております。小・中学校で配布しております、1人1台のタブレットについても、今までの対面授業を有効にするための一つのツールとして利用するものであり、タブレット（仮想空間）が前面に出てしまいますと、今まで先生方が積み上げてきた教育の実績や経験が失われてしまうのではないかと危惧しています。伸ばしていく、手段の一つとしてのタブレットでないとはダメである、と感じています。</p>
竹林委員	<p>そういう意味では、適応指導教室に幼稚園跡地を活用した、ということは非常に有効であると思います。子ども達が自然に触れることが出来て、色々な体験をすることが出来る。その中で感動を味わっていく、というのが幼稚園教育であると思います。そういう環境が整った場所に適応指導教室を設置して、子ども達に提供する、ということは非常に有効なことであると思います。</p> <p>西区ふれあい公園の近所に住んでいますが、散歩がてら、良く利用させてもらってました。今回、新しい公園に整備して頂いて、限られたスペースを有効に活用して頂き、良い公園だなと思いました。子ども達が遊んでいる場面も見ましたが、新しい公園で気持ちよく遊んでいました。大人も運動できるような健康遊具も設置して頂いており、大変ありがたい施設であると思いました。</p>
杉原町長	<p>委員からもありましたが、少子高齢化の時代ですので、健康器具などをもっと町内に増やせたらと思い、担当へも指示を出しております。委員みなさまも近所に住んでおられますので、是非ともご利用ください。長生きできると思います。</p>
安明職務代理	<p>西区の公園と言いながら、南区にも東区にも公園がないので、忠岡校区の子ども達は喜んでいると思います。</p>

杉原町長	他に特にないようでございますので、本日の総合教育会議を閉会いたします。あとは事務局よろしく申し上げます。
事務局	ありがとうございました。以上をもちまして、総合教育会議を閉会いたします。委員皆さまにおかれましては、本日は長時間ありがとうございました。